

サポクラ 通信

令和5年(2023年)7月号

今月の内容は...

- ・ゾウのウンチを知ろう！1
- ・ヒグマの夜間放飼4
- ・レッサーパンダのつり橋とSDGs7

ゾウのうんちを知ろう！



いつもご支援ありがとうございます。アジアゾウ担当の鎌田です。

急に夏らしくなってきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

今回は…ゾウのうんちの秘密についてご紹介します！（お食事中の方はご注意を…）

ゾウのうんち、見たことありますか？



まずはゾウのうんちを見てみましょう！
まずは遠くから…👁️。

ゾウのうんちはこんな形をしています。



もちろん無臭ではありませんが、肉食動物のうんちよりは臭くないと思います。（私の感想ですが…）

うんちをもっとよく見てみましょう

うんちを割って、近くでよく見てみると、ゾウのうんちには草がいっぱい。

ゾウは食べたものの50%程度しか消化できません。

つまり、食べたものの半分くらいが消化されずに出てきます。



うんちの状態を観察することも日々の健康を守る上でとても大切です。



ゾウは草食動物です。動物園では乾草(牧草)を主食として与えています。

果物の皮や種が混ざって出てくることも。
（写真はオレンジの皮です）



一日にどれくらいするの??

1回にするうんちは大体6~8粒くらいです。重さは一粒1kg~2kgくらい。
1頭あたり1日およそ15回、100kg程度のうんちが出ます。



うんちをするときは尻尾を少しだけ上げます。
時には歩きながら、たまに横になって寝ながらすることも…。



ゾウたちのうんちはどうするの?

円山動物園では1日あたり400kg(1日100kg×4頭)のゾウのうんちの処分が必要になります。
ゴミとして捨ててしまうとお金がかかるため、園内に設置している「バイオ発酵処理施設」で
たい肥化をしています。できあがった「たい肥」は市内の小中学校、札幌市の公園管理事業者、
動物園に野菜などを寄付してくださる農家の方などにお渡ししています。



十勝にある忠類小学校の皆さんは
毎年たい肥を使ってカボチャを育て、
寄付して下さります。



うんちの入ったバケツはとても重いので、ゾウ担当者はみんなマッチョです。
重機を使って処理施設に投入し、2週間かけて堆肥ができあがります。

ゾウのうんちが森をつくる！？

野生のゾウたちは、木の枝や樹皮、葉や実をエサとする動物です。一日の多くの時間をエサを食べたり、探したりすることに費やしています。森でゾウたちが食べた植物の種は「うんち」となって森に撒かれます。うんちに混ざった種は芽を出し、ここからまた豊かな森が作られていくのです。



動物園のゾウたちのうんちからも芽が出ることがありました。



アジアゾウは豊かな森に暮らす動物です。



ゾウを守ることはたくさんの生き物が住む森を守ることに繋がります。

最近の円山のゾウたち

気温も上がり、ゾウたちは夜間も外で過ごせるようになりました。4頭とも元気いっぱい！元気なゾウたちの姿をカメラに収める毎日で、私のスマホの写真フォルダはゾウの写真だらけです。最近の様子を皆様にもお届けします。ぜひまた、円山動物園にお越しください！



今年も(有)友夢牧場様からバナナの葉のご寄付をいただきました！



ニヤインもシュティンも、バリバリと食べていました。



暖かい日に久しぶりに水浴びをしたシュティン。全身を念入りに擦っていました。



雨の日も元気に外で泥浴びするシーシュ



園内で刈った笹を食べるパール

ヒグマの夜間放飼

サポートクラブの皆さま、いつもご支援ありがとうございます。
ヒグマ・オオカミ・チンパンジー・トガリネズミ担当の小林です。
今回はヒグマの夜間の過ごし方について紹介させていただきたいと思います。

今までヒグマは、閉園時間以降は屋内の寝室に収容して、1頭ごと個別の部屋で翌朝まで過ごしていました。ただ、寝室は広いスペースではないため、少しでも長い時間を広い空間で過ごせるようにしたいと思い、一昨年ごろから夜間も展示場を利用する“夜間放飼”を実施しています。冬の間は除雪をする必要があるため夜間放飼はできませんでしたが、今年も5月からメスの“とわ”とオスの“大”を1日交代で展示場に出しています。



とわ(メス)

寝室での様子



大(オス)

早朝の様子

寝起きはボーっとしていることが多いです



夜間放飼を始める前は、展示場内で夜間どのように過ごすのか、ちゃんと寝られるかどうか、など心配なところもありましたが、初日から自分で寝場所を決めて朝までゆっくり寝てくれました。



少し地面を掘ってくぼみを作り、寝床としているようです

さらに、気温が高くなってきた最近では、朝からプールに入って涼んでいる様子もみられるようになってきています。



寝室で過ごす夜も展示場で過ごす夜も、睡眠時間はあまり変わらないようです。季節によって少し変わりますが、今の時期はだいたい19時頃から翌朝6時過ぎまで寝ており、途中2回ほど起きて排泄をすることが多いです。

野生のヒグマは早朝や夕方など薄暗い時間に特に活動的になりますが、昼も夜も関係なく活動と休息を繰り返すといわれています。飼育下と野生下では生活のサイクルが変わってしまうこともあるのかもしれませんが、野外の自動撮影カメラを使った調査では8時間ほど寝ている様子が撮影されたこともあるなど、まとまって睡眠をとることもあるようですので、生活する場所や個体によって違いがあるのかもしれませんがね。

今回ご紹介した夜間放飼については、閉園後のことなのでなかなかご覧いただくことはできませんが、ヒグマの夜の過ごし方について少しでも知っていただければと思います。

今後とも、ご支援のほどよろしくお願いいたします！

おまけ

とわ（メス）が朝起きてから展示場に掘った穴



この中で寝たのではなく、掘ることを楽しんでいたようです
幅 60cm
奥行 150cm
高さ 60cm 程度でした。。

前足の爪が後ろ足の約2倍も長いのは、地面を掘って虫を食べたり穴を掘ったりするときに使うためといわれています



レッサーパンダのつり橋と SDGs

さっぽろ円山動物園サポートクラブのみなさま、いつもありがとうございます。
レッサーパンダとヒマラヤグマを担当している大野です。
今回は、最近のレッサーパンダの様子をお伝えいたします。



屋内つり橋再開

さっぽろ円山動物園サポートクラブの皆様のご寄付により改修を行っておりました、レッサーパンダ屋内のつり橋ですが、6月より運用を再開いたしました。まだまだエイト以外は慣れておりませんが、様子を見ながら少しずつ他の個体を出していくので、ぜひご覧いただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。いつ吊り橋のある展示室にレッサーパンダを出すのか、ご質問をたまにいただくので、ご覧いただける確率の高い日についてまとめてみます。

- ・担当者(大野)の出勤日
- ・気温が高く屋内で過ごしている日
- ・悪天候のため屋内で過ごしている日
- ・午後 14 時頃から(午前中は混雑するため)

再開後は事故が起こらないようレッサーパンダをしっかり見守るため、担当者がついていられる時間に出すよう努めていますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。



ガラス面のここがお気に入りの眠る場所



真下からこんなレッサーを観察できます

SDGs への取り組み



SDGs タイムカプセル in 円山動物園プロジェクト

このプロジェクトは、植樹したアズマネザサの成長期間をタイムカプセルとみなし、未来の自分に充てたメッセージ&自分ができるSDGsをササに託すことで、皆さまが持続可能な社会へ貢献できることについて考え、取り組んでいただくものとして2年前に実施しました。

アズマネザサは大きくなると1m80cm~2mほどになるササです。

将来的にはレッサーパンダ屋外放飼場への植樹や、餌としての利用を考えています。



2年でここまで大きくなりました！



トヨペット様からご寄付いただいたトドマツも植樹しています。